

5/22  
(土)

## ゲスト講演者のプロフィール

午前10時10分～ 基調講演

1968年 千葉大学文理学部生物学科卒業。東京大学大学院新領域創成科学研究科生物圏機能学分野教授を経て、現マラヤ大学教授。熱帯型常緑広葉樹林の北限における群落や種の生態的、形態的適応に関する研究を進めて、進化的時間スケールでの現象解明を目指している。亜熱帯・暖温帯林生態系の保全、森林の脆弱性評価(いずれも5カ年計画)、生態系モニタリングの手法検討、海外では3年計画のブータンヒマラヤの生物分布帯に関する研究などに取り組んでいる。著書に「屋久島、白神山地 ユネスコ世界遺産4東アジア・ロシア」(講談社1998)ほか多数。



大澤雅彦氏

1957年生まれ、北京師範大学歴史学部卒業。雲南民族大学民族研究所講師、助教などを経て、現在雲南大学西南边疆少数民族研究センター教授。専攻:文化人類学。著書『雲南民族の歴史文化探究』(雲南民族出版社1996年)、『ペー族の絞り染め——伝統から現代へ』(雲南人民出版社2001年)、『雲南特色文化』(共著)(社会科学文献出版社2006年)。訳書『ヤオ族の歴史と文化——東南アジア山地民族の社会人類学研究』(竹村卓二著)民族出版社2003年、『人類学』(石田英一郎ほか著)民族出版社2008年。



金少萍氏

1968年 中国雲南省生まれ。1993年 雲南師範大学生命科学院卒業後、中国科学院昆明植物研究所入所。絶滅危惧植物の現地調査、繁殖生態の解明、保全の研究に従事。この功績により、雲南省科学技術進歩賞受賞。



魯元学氏

1995年から1年間、富山県中央植物園で雲南省産導入植物の栽培指導にあたる。富山県招聘研究員として、園芸植物や貴重な植物の保全法に関する共同研究。現在はイワタバコ科、ペコニア属、ツバキ属を研究中。2003年、「雲南花紀行」を日本で出版。野生植物の調査、民族植物利用法の研究など、雲南各地でフィールドワークを行っている。論文と共著多数。現職 中国科学院昆明植物研究所 実験師(講師)。富山県名誉大使。



ペマワンダ氏

1972年ブータンパロ生まれ、2004年東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了、現在ブータン農業省再生可能自然資源リサーチセンター所属、ブータンヒマラヤにおける標高傾度に沿った植生の変化や更新動態、家畜の放牧など人の利用による植生への影響に関する研究など。現在、ブータン農業省再生可能自然資源リサーチセンター勤務。

午前の部はアジア各国からの「照葉樹林」の研究者による講演会を開催いたします。日本・中国・ブータンからの様々な側面からの研究成果や事例発表を聞くことができます。午後からは、参加される方々が意見を交換できたり、ものづくりを体験できる分科会を開催いたします。「照葉樹林」をより身近に感じていただけるよう、一般の方々でも気軽に参加できる内容です。

午後1時15分～ 分科会でのテーマ別討議

●参加されたい分科会を選んで事前にお申し込みください。

第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
照葉樹林の生物多様性と文化	照葉樹林の多面的な機能と保全・利用	照葉樹林を軸にした地域づくりと市民参加	体験分科会 親子で作る! 木工教室
総合地球環境学研究所の湯本貴和教授のコーディネートによる照葉樹林の生物多様性と、森が育んだ「文化」について話し合う分科会です。	照葉樹林の持つ様々な機能を明らかにし、今後それらの機能をどう保全・利用していくかについて話し合う分科会です。	森づくりを核にした、地域づくり団体の事例発表を通して、それぞれの団体の活動や、現在抱えている課題を共有する分科会を開催します。	宮崎県木材青壮年連合会の協力により、親子で一緒に間伐材を使って、ものづくりに挑戦できる木工教室! 体験型の分科会です。

# 国際照葉樹林サミット プログラム 2010.5.21-5.23

5/23  
(日)

## 現地見学会(エクスカージョン)

午前9時～午後2時(午前9時 綾町公民館文化ホール駐車場に集合) 新緑の季節、照葉樹の森を散策してみませんか?

Aコース  
定員20名

森林総研プロット見学と大森岳林道散策  
森林総合研究所が20年間調査したプロット見学と綾北川北斜面の雄大な森林を眺めながら大森岳南東稜の林道を散策します。

Bコース  
定員20名

綾南林道(多古羅)作業小屋～分校跡  
多古羅川沿いの旧トロッコ道を散策し、昔の分校跡をたずねます。生活者の体験談を聞き、山での暮らしを感じてみましょう。

Cコース  
定員20名

川中国有林(ボランティア見本林と巨樹の森)  
ボランティアによる復元作業地を見学した後、九州自然歩道を経由し、多様な照葉樹の森を体感してみよう。(※体力に自信のある方のコースです)

Dコース  
定員10名

猟師が案内する綾の森  
綾町在住の現役の猟師が綾の森を案内します。(※体力に自信のある方のコースです)

Eコース  
定員20名

綾の森を一望するトレッキングルートめぐり  
照葉大吊橋南の県有林内の歩道の散策。尾根沿いの展望スポットからは大森岳から釈迦ヶ岳までが一望できます。

Fコース  
定員20名

綾ほんものセンター見学と有機農業体験  
照葉樹林の恵みを活かした農業体験です。

参加費  
1,000円

すべてのコース共通の参加費です。バス代・保険料込です。朝9時00分にサミット会場に集合してそれぞれのコースを散策します。要事前申込み。参加希望者が多い場合は抽選となります。裏面の申込書にてお申し込みください。



交流会  
22日(土)  
午後6時～

サミット閉会后  
特設会場にて  
開催!

国内外の研究者や、森づくりの市民団体が一堂に会する交流会を開催いたします。綾町で採れたての食材を使った「地産地消」の料理をご堪能いただけます。この機会に「照葉樹林」に関する情報交換を! 要予約、ぜひご参加ください。

会費3,000円(予定)

お弁当のご注文は?

当日のお昼はお弁当が注文できます!

22日・23日の両日、県外、市外から参加される方で、お弁当が必要な方は申し込みの際に、お弁当の口にチェックマークを記入するだけでご注文できます。受付時にご精算いただけますと、綾の「ほんものセンター」特製のお弁当をご提供させていただきます。

お弁当お一人分500円

内容に関しては天候や、その他の諸条件により若干変更する場合がございます。また分科会のパネラーや登壇者に関しては詳細が決定次第、ホームページ上で随時ご案内いたします。

<http://teruhanomori.com/>

前夜祭  
5/21(金)  
照葉樹林研究フォーラム開催!  
日時:5月21日(金)午後3時～  
会場:上畑地区公民館

21日の午後、前夜祭として「照葉樹林研究フォーラム」を開催! アジアの森の辺縁の話題を聞きにいらっしやいませんか。フォーラム終了後は同じ会場で交流会も開催! 参加ご希望の方は事務局まで! 発表者は下記のとおり

- 「ペー族の絞り染め」 金少萍氏
- 「雲南花紀行」 魯元学氏
- 「送電線ではなく鶴の飛来を選んだブータンの村」 ペマワンダ氏
- 「照葉樹林と竹細工」 月脚祐子氏

入場無料・交流会のみ実費負担

参加のお申し込みは裏面の申込書に必要事項をご記入のうえ  
5月10日(月)午後5時までにFAX又はメールにてお申し込みください。

お申し込みは裏面!